

単独病床機能再編計画書

資料2-2

〔複数年度版〕

構想区域	広島地域構想区域
医療機関名	医療法人社団あやめ会 福原整形外科医院

■計画概要

1. 令和2年4月1日時点の状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床数		19				19
稼働病床数		19				19

※許可病床に精神病床, 結核病床, 感染症病床は含まない。(以下, 同じ)

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
平成30年度 病床機能報告	許可病床		19				19
	稼働病床		19				19
令和元年度 病床機能報告	許可病床		19				19
	稼働病床		19				19

2. 再編途中の状況

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
令和 4年度	許可病床		19				19
	稼働病床		19				19
令和 5年度	許可病床		10				10
	稼働病床		10				10
令和 6年度	許可病床		10				10
	稼働病床		10				10
令和 7年度	許可病床		10				10
	稼働病床		10				10

※必要に応じて行を追加してください。

3. 再編後の許可病床数

再編完了(予定)時期 令和 8 年 3 月

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
許可病床数		0			0
削減病床数 (許可病床ベース)	0	▲ 19	0	0	▲ 19

4. 病床機能再編計画の内容、再編の影響(患者等)とその対応方針

令和4年度の9床削減に引き続き、残る急性期病床10床を削減する計画である。この計画は、地域医療構想の実現に向けて、病床機能分化・連携に必要な計画と考える。

病床削減により、入院患者が引き続き適切な入院治療を受けられるよう、転院先を慎重に検討する。

なお、外来患者で入院が必要となった時は、患者様にとって最適な病院を紹介する。

5. 病床機能再編計画と地域医療構想の関係（再編が構想の実現に資すると考える理由）

当該圏域は病床過剰地域である上、広島県地域医療構想における2025必要病床数13063床に対して、令和3年度病床機能報告では13,180床であるなど、117床の過剰となっている。

また、医療機能別病床数においても急性期の2025必要病床数4242床に対して、令和3年度病床機能報告では4,690床となっており、448床過剰となっている急性期病床を段階的に廃止する当院の病床削減計画は、当該圏域の地域医療構想に資するものとする。

6. 令和元年度病床機能報告から令和2年3月31日までの期間に再編を行った場合には、その理由を記載